

江藤 和徳 さん（2次マスターコース 土日通学）

| | | | |
|-------|---------|------|-------------|
| 2013年 | 大手予備校通学 | 一次試験 | 科目合格（財務、情報） |
| 2014年 | 大手予備校通学 | 一次試験 | 合格 |
| | と勉強会参加 | 二次試験 | 不合格 BBBB |
| 2015年 | MMC 通学 | 二次試験 | 合格 |

【MMCとの出会い】

MMCとの出会いは、大手予備校に通い初の2次試験に挑んだ2014年の9月、第4回模試です。その時の率直な印象は、「なんだろう？ この本番さながらの緊張感は！！」と驚いたのを今でも鮮明に覚えています。司会進行の方の迫力、会場スタッフの無駄口を一切しないピリッとした表情（後になってこの方々はすべて講師の先生と判明しました）、意識の高そうな受験生の真剣な面持ちとそれらが醸し出す張り詰めた空気、もし今回だめだったらMMCで勉強してみたいとその時、正直に思いました。

私の予感的中しました。その後のMMCでの受講は正に模試時の雰囲気そのまま、毎回の講義の緊張感とレベルの高い受講生の休憩時間にも予習復習する誠実な態度に触発され、私も1年間モチベーションを維持することができました。

【大きな転機】

1月から講座を受講し、自分自身ではゆっくりと成長している実感はありましたが、題意を大幅にはずしたり、対応づけを間違えたり、得点が安定しない日々がつづきました。

私の大きな転機は8月中旬の大谷先生から受けた第3回模試のフィードバック面談です。「江藤さん。自分は与件本文を読む前に全設問の解答フレームを作るのですが、それをやってみたらいかがでしょうか？」「えー！？ 与件本文を読む前に解答フレームを作るなんて自分には出来ませんよ。無理です。」とは言ったものの、出来なければ自分のやり方に戻せばいいやくらいの軽い気持ちで次回答練からトライしてみました。やってみると思ったほど時間を要することでも難しいことでもなく、予め解答フレームを作成することによって事例全体の流れを俯瞰で捉えられ、出題者が要求する答えがより明確に想像できるようになり、結果としてすべての事例で得点が安定しました。まさに開眼を実感した、目から鱗の瞬間でした。

【本番当日】

1週間前から風邪をひいてしまい、本番当日は絶好調とはいきませんでした。「試験会場が良いところだったらいいな、隣の人が静かだったらいいな、とか必要以上に期待しないこと。そして変なひらめきは捨てなさい。いままでやってきたことで勝負しなさい。」という中居先生のアドバイスのおかげで、変な高揚もなく本試験に臨むことができました。それでも事例Ⅰの受験番号を書くときは手が震えました。5という数字がまともに書けなくて消して書き直したほどです。ちなみに試験会場は蒸し暑くサウナ状態で風邪の発熱と重なってコンディションは最悪でした。

本試験は難問が多く、解答の方向性を導き出すのに時間がかかりました。事例ⅠはMMCで散々やったような設問もあり、それを片付けている最中に他の設問の解答の方向性が浮かんできたり、事例Ⅱは最初のターゲット 100 字に面食らって一瞬思考が止まったり、事例Ⅲは与件本文と解答文字数が多く時間が足りなくなったり、事例Ⅳは残り5分でCVPの計算間違いに気づいたりと最初から最後まで悪戦苦闘の連続でした。試験が終わったときは放心状態で最後の最後まで席を立つことが出来ませんでした。

振り返ってみると自分の結果はボーダーラインぎりぎりだったと推測しますがMMCで習ったことのある設問を確実にゲットしたことが合格につながったと思います。

【MMCメソッドは最強です。】

自分自身の癖や曖昧な論点を修正強化するためには、大手予備校や受講生同士の勉強会では限界があります。MMCメソッドをしっかりと学び、毎回ぶれない質の高い演習教材で何度も繰り返し学習し、先生方の的確なアドバイスがあれば、必ず自己の成長を実感できると確信します。特に自分のようなアラフィフ世代には、記憶力の低下や凝り固まった思考を修正するためにMMCメソッドは最強です。

【新受講生へのアドバイス】

僭越ながら新受講生に3つのアドバイスをさせていただきます。

- ① 講義の際は必ず前から3列目以内に座ること。

先生からよく指していただけるようになり、毎回、緊張感を持って受講することができました。特に答えられなかったときは鮮明に記憶に残り、あいまいな論点の補強に役立ちました。

- ② GWの財務特訓講座は必ず参加すること

受講の際にいただいた良質な問題集を毎日やったおかげで事例Ⅳの得点が安定しました。

- ③ 過去問はMMCの模範解答を片手に7月までに1回転はしておくこと

比較的余裕のある7月までに全過去問（平成13年～26年）に取り組むことでストレート生に対して圧倒的優位に立ち、MMCの模範解答とにらめっこしながら学習することで、解答のコツが見えてきました。

【最後に】

毎回楽しく勉強させていただき、あっという間の1年でした。MMCで学んだことは今後の人生においても自分の軸になっていくような気がします。ランチで毎週食べていた中央大学駿河台記念館1階のカレーをもう食べることもないと思うと寂しく感じることもあります。

講師の皆様、特に中居先生と大谷先生には大変お世話になりました。講師の方々の今後のご活躍を心より祈念しております。